

平成 28 年 10 月 24 日

舞鶴市議会

議長 桐野 正明 様

舞鶴市議会新政クラブ議員団

幹事長 和佐谷 寛

管外調査報告

このたび、調査をしましたので、下記のとおり報告します。

記

I 参加者氏名

和佐谷 寛 (幹事長)、水嶋 一明 (幹事)、今西 克己 (幹事)

福村 暉史、上野 修身、岸田 圭一郎、鯛 慶一、眞下 隆史

II 調査先について

1 小矢部市

2 ①直江津港

②直江津 LNG 基地

3 松本市

III 期間 平成 28 年 10 月 17 日～10 月 19 日

IV 経費 413,026 円

V 結果の概要について

1 小矢部市における「三世代同居推進事業」について

◎基本的な考え方

小矢部市は、金沢市や富山市から通勤時間1時間以内の立地にあり、就職や進学で幅広い選択肢を選べる一方、持ち家率、持ち家面積も全国トップクラスであることから、多世代で同居できる条件が揃っている。

しかし、本市における少子高齢化が進展しており、2060年には現在の人口の半分に減少し、15,000人ほどになる見込みである。

このような状況のもと、地域の実情を踏まえた施策を実行していく必要に迫られている。

平成22年の国勢調査で、全世帯のうち28.1%の世帯が三世代世帯という結果で、県内では最も高い割合である。

さらに、1世帯あたりの人員が3.18人と県内で2位と高い数値であり、三世帯の多さを裏付けるものとなっている。

しかし、生活習慣や価値観の多様化の進展とともに、今後、三世代世帯数は確実に減ってくると考え、小矢部市の長所を

伸ばし、子育て環境を向上させる施策の必要性に迫られ、取り組みを始めた。

◎三世代同居推進事業の経過と概要

- 三世代同居・近居応援助成金
- 小矢部市三世代同居推進リフォーム助成金
- 孫とお出かけ支援事業

2 直江津港及び直江津LNG基地について

- ①直江津港について
- ②国のガスパイプラインの整備方針について
- ③ガスパイプラインの費用・便益の資産について
- ④北近畿エネルギーセキュリティ・インフラ整備研究会について

3 松本市6次産業化推進について

◎経過と概要について

●取組の経過

松本市農業ルネッサンス事業（平成6年度～平成24年度）

農業者による地域農業振興への取組を支援

施設整備借り入金に対する利子補給

平成15年度以降、補助対象事業を特産品づくりに特化

平成25年5月、補助金交付要綱制定

●補助金交付事業の概要

◎6次産業化推進における地域活性化との関係について

●補助金交付実績

●地産地消アンテナショップ活用事業

●松本市地産地消推進の店舗制度の運用

◎6次産業化の連携について

●1次産業—松本ネギの供給

●2次産業—加工食品の開発製造

●3次産業—物産展への出品、直売所・量販店等への出荷

◎課題と今後の取組について

●農産物と新商品開発者とのマッチング

●販路の確保

●新たなブランド化による農業生産者の所得向上

VI まとめ（所見）

1 三世代同居推進事業について

上記「基本的な考え方」で述べているように、小矢部市の地理的状況と世帯構成をあげることが出来る。即ち、金沢市や富山市から1時間以内の通勤立地、持ち家率や持ち家面積が全国トップクラスであるが、一方女性のUターン率、独身男性の未婚率が高く、2060年には現在の人口は半分になる予想。

このような状況に鑑み、市のおかれている長所を伸ばし、子育て環境を向上させ、三世代同居を推進する取組を始める事に至った。

2 直江津港及び直江津LNG基地について

日本海側拠点港のうち、LNG専用埠頭に選定されている直江津港は、埋め立てにより築港され、前面の日本海側は、防波堤によって荒波を遮断する人工港となっている。

西埠頭地区から荒浜埠頭地区まで東西に延びており、荒浜埠頭地区では中部電力火力発電所、国際石油開発帝石（株）直江津LNG基地、さらに、あと一基の火力発電所スペース（東北電力一火力発電所）を想定した規模である。

直江津LNG基地（貯蔵量36万kl）については、LNG受入栈橋からタンク2基に貯蔵し、パイプラインで発電所へ供給。

3 松本市6次産業化推進について

地域資源の有効活用、農業者の農産物の直売・加工、観光、農家レストランの経営など6次産業化に注目した。

農業が地域産業と結びつき、他産業と連携しながら経営基盤の強化を図る取組は、地域産業の活性化や雇用機会の創出など地域経済の底上げが期待される。